

あまがさき

議会だより



役場南ひろば工事の様子 (関連記事P16)

新春対談 鈴木町政 3期目の意気込みを聞く

2~3

一般質問

8~15

「18歳までの医療費無償化を」

「3歳児健診 視力検査用機器の導入を」

「大口西小学校校舎 長寿命化改修工事を選んだ理由は」 ほか



大口町議会
ホームページ

No.231

令和4年1月21日

発行：愛知県大口町議会

鈴木町政

3期目の意気込みを聞く

昨年11月1日より、鈴木町長の3期目が始まりました。新たなスタートを切られたことを踏まえ、今後の4年間、そして将来の大口町を見据えた町政のかじ取りについて、丹羽勉議長が鈴木町長にインタビューを行いました。



丹羽勉議長のインタビューを受ける鈴木町長（町長応接室）

議長 3期目は何に重点をおいた町政を運営されるのか。

町長 町政の課題が多くあるが、今期は住民の皆さんが誇りを持つるまちにしていきたいと考えている。議員の皆さんは施政方針の中で何が1番必要と思われたか。

道路整備・交通安全対策

議長 これまでの2期8年、道路整備や企業誘致に力を入れてこられたことで交通量も増加した。
幹線道路に繋がる生活道路の整備等により、まずは住民の安全を守って欲しい。

町長 この8年の間に道路整備を進めてきたが、歩道設置の要望をしてもできないことが非常に多い。また、信号機の設定も役所が動かないと思われがちだが、一生懸命要望しても聞いても

らえない歯がゆさがある。人間に例えれば、国道や県道は大動脈、町道は普通の血管。集落内の道路は毛細血管。

将来的には交通関係の規制緩和もされると思うし、自動運転や空飛ぶ車も出てくるかもしれないが、30年、40年先でも庶民の足にはならないと思っている。まだまだ道路については考えていかなければならない。

議長 大人は交通ルールやマナーに関して横着だと思う。子どもが第一原因となる事故はないのではないかと。一人一人がそれらを守っていかないとこの先も危ないと思うが、町長はどう考えているか。

町長 私も年を取るにつれて、だんだんと横着になってしまっている。道路に関して、車と車がすれ違えるものにならないとどうしようもないと考えている。

議長 大人が手本となって交通ルールやマナーを守っていけば、町長が考える道路整備が功を奏すと思う。

農業の担い手育成

議長 地元新聞に掲載された「3期目、鈴木町長に聞く」の記事には、農業の担い手育成についても述べられていた。今後の農業については、どのようなお考えか。

町長 新しく農業法人を作る理由は農地を守るためのもの。町内のある農業法人がコスモス畑などの取り組みを行っているが、農地を守るためにはいいことではないかと思っている。

こうした取り組みは、個人よりも法人で行う方が適していると考えているので、農地を守るためにも担い手となる法人を育成したい。

議長 広い意味で農地を保全すると言う意味か。

町長 農業は米を作るだけのものとは考えていない。

我々が作るうとしてい
る農業法人は、あくまで
農地を保全するため、色
んな手段を考え使える農
地にするための組織であ
ると考えている。

議長 農業法人の設立に
向け、準備委員会
を設けたが、その中に農
業以外の色んな知識やノ
ウハウを持った人たちが
参画させたらどうか。

町長 今、法人の設立に
向けた準備委員会
では、組織の枠組みを検
討している。それができ
た段階で、いろいろな分
野に精通した人たちにも
入ってもらい、一つの部
会形式でやってもらっ
てを考えている。
農地を守るためには、
今の担い手だけでは対応

しきれないので、志のあ
る方に手伝ってもらいた
い。

また、離農する農家か
ら不要になったトラクタ
ー等を預かって管理し、
必要な方に貸し出すこと
もできるのではないかと
いうことも考えている。

この取り組みが軌道に
乗るかどうかはわからな
いが、荒廃した農地がな
くなるのではと考えてい
る。

このほか、農業をやっ
てみたい子どもたちには
体験学習をやってもらっ
たなど、色んなことをやっ
て農業や土に親しんでも
らえば良いと思っ
ている。

新型コロナ対策

議長 フクチンの3回目
接種の対応につ
いてはどうか。

町長 3回目は2回打っ
た人しか打てない
ので肅々と進めれば良い
のではと考えている。

議長 接種会場はどのよ
うに考えているの
か。

町長 個別接種は難しい
と考えている。中
央公民館での集団接種で
あれば、成人式を接種会
場のままやることで新成
人へのPRにもなるので
はと考えている。

議長 私も集団の方が良
いと思っ
ている。

1回目や2回目の接種
の際には、受験生をはじ
めとする若い世代も先行
して実施するなど、町長
の英断には一住民として
感謝している。

町長 受験等を考えれば、
今はそうして良か
ったとつくづく思っ
ている。

議長 近隣市町での首長
の評価が違う。よ
そがやったからやり始め
たところもある。

町長 決断しなければな
らないときに、す
ぐに決断できるように、
この先4年間も引き続き、
議会の理解・協力をお願
いしたい。

対談を終えて

2期8年を通じ、決断
力と実行力のある鈴木町
長の手腕を評価すると
もに、3期目も住民の皆
さんが安全・安心に暮ら
せ、さらには誇りを持て
るまちづくりをしていた
だくことを期待します。

議会としても町長と目
標や課題を共有し、まち
づくりの取り組みを応援
するとともに、緊張感の
ある関係を保ちながら議
会としての使命を果たし
ていきたいと思っ
ています。

12月定例会の概要

12月定例会を11月30日から12月22日までの23日間の会期で開催しました。

○町提出(14議案、1諮問) 令和3年度一般会計補正予算(第7号)など

【全会一致で可決】令和3年度一般会計補正予算(第7号)ほか13議案

【全会一致で適任と答申】人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

○請願(2件)

介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書ほか1件を審査しました。(6ページ)

○一般質問 8人の議員が町政全般にわたり質問しました。(8~15ページ)

質疑あれこれ

本会議での議案質疑及び総務建設、文教福祉の各常任委員会での主な質疑を掲載します。

補正予算

西小改修10億円を計上

(一般会計補正 第8号)

主な内容は歳出で大口西小学校長寿命化改修工事費を計上し、歳入ではこれに伴う国庫補助や借入金

を計上。
問 西小学校長寿命化工事には、以前、子供たちが出した提案がどのように活かされているのか。

答 実施設計では提案を含めながら教職員と意見交換を行い、全ての提案を受け入れることは難しいが、トイレを全て洋式化し、女子トイレの数も増やす。トイレの床も乾式化するので臭いも軽減されると思う。

教室のロッカーも現状より一回り大きくする。



校舎を長寿命化するための大規模改修が行われる現在の西小学校の様子（東側から撮影）

問 学校施設整備事業債ということで借金の返済というのは全体で無理のない返済状況になっているのかどうか。

答 基金の残高との関係は、現在、基金が減っているが、償還額が増えているというところになっているが、今後バランスを見ながら無理のない範囲で借り入れを計画していきたい。

問 賑わい創出事業の周知方法は。

答 地区掲示板、柏森駅の掲示板等々を利用するほか、広報の中にチラシを折り込む予定。

問 元氣なあいちの市町村づくり補助金について、町が現在考えている賑わい創出事業のイメージは。

答 令和3年度は各地域自治組織が提案する場所でキッチンカーによる移動式飲食店街を作り出し、町内の在住者、在勤者の皆さんに飲食による賑わいの場を提供したい。

来場者や出店者の方にアンケートを取りながら、今後の飲食店街を整備するための参考にしていきたいと考えている。

開催時期は、4年3月を予定しているが、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら慎重に判断していきたい。

問 さくら咲く基金事業の実績は。また、今回寄附された100万円のように、桜の維持管理に使ってほしいという具体的な要望に対し、早急に対応する必要があると思うが、町の見解は。

答 この基金は、桜の保存事業、桜に関する調査や研究事業に使っている。今後もこういったものに使っていきたいが、寄附者の思いをかなえられる仕組みを考えていきたい。



条例の改正

北防災センターを拠点施設に指定 (学共等の設置及び管理に関する条例一部改正)

現在、屋内運動場(旧北小体育館)を地域の防災拠点施設として整備している。

今後、地域が管理運営を行うため、学共施設等に位置付けると共に、地域住民による自治活動の推進を図る拠点施設として指定するための改正。

問 改正要旨に地域に管理運営をお願いするところが、どこが行うのか。

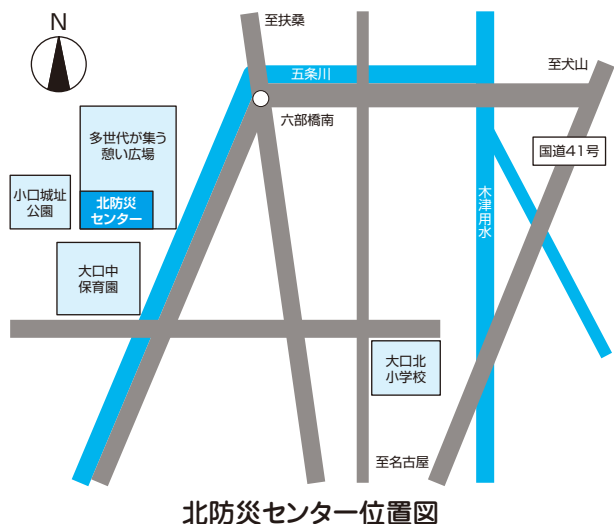
問 施設の設備や運営面において女性の視点が必ずやだと思うが、どのように考えているのか。

答 地域にはいろいろな方がみえるので、多くのご意見をいただきながら取り組んでいきたい。

答 北地域自治組織にお願いする方向で準備を進めている。

問 北地域自治組織が管理するということだが、施設の修繕が必要になった場合の対応は。

答 学共等と同様に簡易な修繕については迅速に対応できるように、10万円の管理費を交付する。当然、10万円を超える場合は町で対応する。



北防災センター位置図

議会報告会・意見交換会を開催!

開催日：令和4年2月12日 土曜日

時間：午前10時から正午まで

会場：健康文化センター1階 多目的室

テーマ：大口町の新型コロナウイルス感染症対策について

※新型コロナウイルスの感染状況次第では中止する場合があります。

議会
あれこれ

10月臨時会の概要

10月臨時会を10月29日に開催し、町提出の令和3年度一般会計補正予算(第6号)(総額89332万円の追加)を全会一致で可決しました。

○補正予算の主な内容

- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業 5140万円
- ・商工業振興事業 3792万円

また、10月24日執行の町議会議員補欠選挙で当選された鈴木和江氏を欠員が生じていた総務建設常任委員会委員に選任しました。



鈴木和江氏

委員会活動報告

主催

総務建設常任委員会

令和3年11月2日、トヨタ自動車（株）様の新しい大口部品センター（以下、センター）を見学させていただきました。

最初にセンターの歴史や、トヨタ自動車（株）様における物流事業の現状などの説明があり、その後、センター内を案内していただきました。

新しいセンターはロボット等による作業の省力化・効率化が徹底されており、環境面では屋根に設置した太陽光パネルで自家発電を行い、また、センター内の設備で水を生成し、燃料電池フォークリフトの動力源を賄っているとのことでした。最先端技術が融合した新しい時代にふさわしい施設に強い感銘を受けました。



燃料電池フォークリフトに水素を充填中

主催

文教福祉常任委員会

3年11月25日、西小学校を訪問し、長寿命化改修工事（4年度・5年度に実施）の内容について説明を受けました。

築年数が経過し、老朽化の目立つ校舎ですが、この工事では外観も含め子供たちの学習・生活環境も大幅に改善されるということです。



校舎外側の改修内容の説明を受ける様子

図書館と一体型のメディアセンターが設置されることなどにより、自ら学び、自ら考える環境を整うことで、心身ともにたくましい子供が育つことを期待します。

（主な改修内容）

- ・校舎の増築
- ・校舎の防水、断熱、外壁補修等の工事
- ・図書館と一体型のメディアセンターの設置
- ・普通教室の壁と黒板の塗り替え、ロッカーの拡大
- ・トイレの洋式化、床の乾式化

請願・陳情

12月定例会に提出された2件の請願と2件の陳情について、次のとおり決定しました。

【請願】

介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書

（不採択）

請願者

愛知自治体キャラバン実行委員会
代表者 森谷光夫

紹介議員

江幡満世志

「子どもの権利条約」及び「SDGs」に基づいた子どもの権利や人権・子どもの最善の利益を守ることを目的とした条例の制定を求める請願書

（採択）

請願者

稲垣 学

紹介議員

江幡満世志

【陳情】

障害職場の一人夜勤をなくし、常時複数配置ができる基準にするよう国に対し意見書提出を求める陳情

（聞き置く）

陳情者

全国福祉保育労働組合
東海地方本部
執行委員長 越須賀 舞

「地元自治体との連携による経営支援体制確立と地域商工業振興に対する施策の拡充」陳情書

（趣旨採択）

陳情者

愛知県商工会連合会
会長 新美 文二
大口町商工会
会長 舟橋 浩司
他3名

過去の請願・陳情の審査結果等はこちらをご覧ください。

<https://www.town.oguchi.lg.jp/2744.htm>

大口町ホームページ ⇒ 町議会 ⇒ 請願、陳情一覧



町政を問う

8議員が質問

ここが聞きたい!

大口町
ホームページ
「一般質問」



YouTube
チャンネル名
「大口町議会」



「一般質問」とは、町政全般にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

伊藤 浩	余野1号公園 どのような公園にしたいのか…………… P8 海洋プラスチックごみ 出さないように何をするべきか
江幡満世志	18歳までの医療費無償化を…………… P9 学校給食費の無償化を
大竹伸一	PCB廃棄物 町有施設で排出される可能性は…………… P10 高齢者の見守り 民生委員等が連携した組織作りは
齊木一三	町の魅力発信 「スポーツ大使」の設立を…………… P11
佐名かよ子	医療用ウィッグ等の購入費助成を…………… P12 3歳児健診 視力検査用機器の導入を
吉田 正	子ども権利条約の制定を…………… P13 加齢性難聴対策 補聴器購入費助成を
江口昌史	大口西小学校校舎 長寿命化改修工事を選んだ理由は…………… P14 放課後児童クラブ 年末年始の休みを保育園と一緒に
岡 孝夫	総合計画アンケート結果 重点改善項目の認識とその対応は…………… P15

追 跡

1年前の一般質問から

あれから どうなった?

議会だよりでは、1年前の一般質問から2題を選び、あれからどうなったかを調査しました。

ヘルメット購入費の助成を

問 各家庭において交通安全の理解を促進し、長期的に着用率を高めるためにもヘルメットの購入費を助成できないか。

答 愛知県が市町村と共同での制度の創設を検討している。本町としても着用率向上につながる補助制度になるよう検討していきたい。

愛知県との協調事業として、令和3年6月1日より自転車乗用ヘルメット購入費補助制度を創設。ヘルメットの着用を促進し、事故時の負傷を軽減するとともに、安全運転意識の向上に繋がることを期待。

質問者の満足度

じっくり

着用率向上のために、ぜひ全額補助のご検討を。

使用済み紙おむつの園内処理を

問 今後、保育園での使用済み紙おむつを園内処理する考えは。

答 大口中保育園が実施している。実証してみないと分かりにくい部分もあるので、来期に向けてできるようなかたちを検討し、可能であれば4月を目標に実施したい。

令和3年4月より各保育園で未満児のおむつの園内処理を開始し、保護者や保育士から好評を得ている。

質問者の満足度

じっくり

保護者からも大変助かっているとの声を聞いている。衛生面や負担軽減につながる素早い対応に感謝。

江口昌史

佐名かよ子

令和2年12月議会

こうなった

余野1号公園

どのような公園にしたいのか

部長 足を運んでももらえる施設にしたい



令和3年12月定例会
一般質問(伊藤議員)

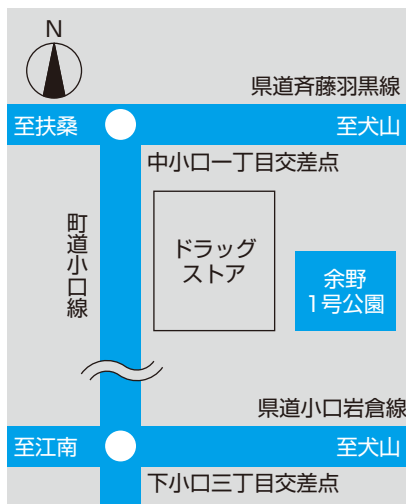
問 余野1号公園整備に
関する地域住民への
アンケートを回収した後
のスケジュールは。

建設部長 現在、集計中
のため、その

結果が整い次第、議会や
協力していただいた世帯
へ結果を報告する予定。
また、1月下旬に整備
を進めるか否かの方針を
固め、2月下旬に議会へ
報告する。

問 余野地区の区画整理
事業終了後、20年以
上経過している。長い目
で見るとのことだが、ど
のような公園にしたいの
か、町の考えを伺う。

建設部長 今回のアンケ
ートをもって
最終決定とはいかないの
が現実だと思う。今回の
アンケートをきっかけに
時間はかかるが、徐々に
施設を充実していく方法
もあると考えている。
まずは、知ってもらい、
足を運んでももらえる最低
限の施設整備をしていき
たい。



余野1号公園位置図

海洋プラスチックごみ

出さないように何をするべきか

部長 ポイ捨てせずに適切な処理を

問 海洋プラスチックご
みは、どのようにし
て発生するのか。

まちづくり部長

実態は未解
明な部分が多
いが、その大半は陸地
で捨てられたプラステッ
クごみが河川から海に流
れ込むのではないかと
言われている。

問 海洋プラスチックご
みの寿命はどのくら
いか。

まちづくり部長

基本的に自
然に分解さ
れることはないと言われ
ている。
様々な研究報告による
と、数十年から数千年と
言われている。

問 マイクロプラスチック
の大きさは。

まちづくり部長 直径5ミリ
以下。

問 海洋プラスチックご
みを出さないように
私たち町民にしてほし
いことは何か。

まちづくり部長

プラスチック
クごみを適
切に分別処理していただ
き、「ごみのポイ捨てを
しない」ということを守
ってほしい。

また、自主的な清掃活
動を行うとともに、地域
の清掃活動にも積極的に
参加してほしい。





18歳までの医療費無償化を 部長 助成対象の拡大には慎重に対応



令和3年12月定例会
一般質問(江幡議員)

問 18歳までの医療費を無償化すると、推計で年間の負担額はどの程度になるのか。

健康福祉部長

今年度から実施した入院に伴うものは、上半期の実績をみると、100万円前後になる見込み。

しかし、年度により件数や病気やケガの程度により増減があるため、予測することは困難だと認識している。

問 地方消費税交付金を活用して通院費も無償化にする考えは。

健康福祉部長

本町では社会保障施策

の財源として地方消費税交付金の充当先を決めている。

福祉医療助成事業に関しては、その性質上、持続可能な制度である必要があることから、町単独事業となる助成対象の拡大については慎重に取り扱う必要がある。

令和3年度 地方消費税交付金(6億6300万円)のうち 社会保障財源化分の充当状況 (単位:千円)

科目	社会保障 施策経費	財源内訳		
		国県支 出金等	一般財源	うち地方 消費税交付金
社会福祉費	738,600	405,477	333,123	225,201
児童福祉費	468,764	389,215	79,549	53,846
保健衛生費	5,821	3,504	2,317	1,402
計	1,213,185	798,196	414,989	280,449

学校給食費の無償化を

教育長 優先課題の財源確保も必要

問 給食費を無償化した場合の財政負担額はいくらか。

生涯教育部長

現状の単価、小学校25

0円、中学校286円に平成30年度の食数、小学校27万食、中学校12万食で算出すると約1億300万円になる。

しかし、すでにこの単価を越えて給食を提供しているため、その超過分と物価上昇分を加えると、小学校で265円、中学校で305円くらいの単価になると想定している。この場合で約1億1千万円になる。



問 子育て支援と町内経済の下支えとで、経済状況が向上くまででも無償化の実施を願うが、その考えは。

教育長

保護者の負担が少しでも軽くなることは良いことだと考えている。

しかし、喫緊の問題として西小の長寿命化に向けた改修工事、給食センターの改築、GIGAスクール構想の推進等、多額の費用が掛かる事業を抱えており、これらの財源の確保も考えなければならぬ。

重要なことは、家庭の経済格差が、教育格差にならないような施策は優先することだと認識している。

議員の要望等は貴重な意見として承る。

PCB廃棄物

町有施設で排出される可能性は

総務部長 工事等に際し調査を実施



令和3年12月定例会
一般質問(大竹議員)

問 町が保有する施設で、今後、PCB廃棄物が排出される可能性はあるか。

問 町内の河川に架かる橋梁で、塗料塗り替えによって発生するPCB汚染物の処理はどのように行うのか。

建設部長 町では橋梁長寿命化修繕計画を策定し、その計画に基づき修繕を行っているが、その中で塗装に基準値を超えるPCBが含まれていないかの調査を行っている。

基準を超えるPCBが検出された場合は、法令に従い適切に処理する。

総務部長 総合運動場高圧機器取替工事にて、変圧器やコンデンサの取り換えに際して、PCB含有調査を行い、含有が確認されれば適切に処理する。

また、西小の長寿命化工事においても同様に確認されれば、これらとともに処理する予定。



過去に町有施設で確認されたPCB廃棄物は、適切に処理するため中央公民館敷地内に一時的に保管されています

高齢者の見守り

民生委員等が連携した組織作りは

部長 地域住民同士の見守りが大切

問 高齢者の見守りに関し協定事業者も重要な役割を担っていただいているが、住民の協力が欠かせないと思う。

民生・児童委員との連携を含めた補助員の組織の構築はどのような考えか。

健康福祉部長

民生委員や高齢者福祉

協力員の皆さんに見守っていただき、声かけを行っている。

しかし、高齢化率の上昇と併せ、見守りの必要な高齢者も急増しているため、「回し二軒両隣」といわれるような地域住民同士による日ごろからの見守りが大切であると考えている。

問 高齢者の就業機会へのサポート支援はどのようなか。

健康福祉部長

本町では、地域で就業

を希望する高齢者を対象に就業する機会を提供する公的機関である、「大口町コミュニケーションセンター」へ補助金を交付し、高齢者の就業機会をサポートしている。

高齢者の就業機会への支援は大切なことであるため、「いきがい就職」を求める高齢者の期待に応えられるよう、引き続きコミュニケーションワークセンターと連携していく。





町の魅力発信

スポーツ大使の設立を

町長 庁内でいろいろと検討したい



令和3年12月定例会
一般質問(齊木議員)

問 町の魅力発信をどのような手段で行っているのか。

生涯教育部長

住民有志のグループと

NPO法人まちなつとが協働で、魅力発信のプロジェクト活動を行っている。

まちづくり活動団体の方などに講師をお願いして小学校で授業を行ったほか、魅力発信パンフレットの作成や、写真や絵はがきのコンテストなどを実施してきた。



問 本町出身者でスポーツ分野で活躍されている方の認知度が一般住民には低いようだが、どんな方がいるのか。

生涯教育部長

例えば、町長へ表敬訪問された方の中には、全国中学生水泳大会で好成績を収めた生徒、柔道で活躍している生徒、K-1(格闘技)の高校生大会で好成績を収めた方がいた。

このほか、バトン競技やスノーボード、大相撲、バスケットボールで活躍している方がいると伺っている。

問

「芸術・文化・スポーツ」の分野で活躍されている方に町の情報発信をお願いする場合、活動内容はどのようなことが要求されるのか。

生涯教育部長

現役で活躍する個人や

団体の方々が、主体的に大口町をイメージアップする情報発信は難しいと思っている。

しかし、最近はSNSを開示している方もあり、町の記事をシェア等していただくことをお願いすることはできると考えている。



問 町の魅力を広く情報発信するため、町をあげて応援していく「スポーツ大使」の設立はできないか。

町長

スポーツ大使としてどうするかとか、助成をどうするかは、今後、庁内でいろいろと考えさせていただく。

基本的には議員の言われる、スポーツ大使と言うのを一つの記として、ここからいかにやっていくのかが、我々の仕事だと思っている。

今回の質問をなんとか実現するために努力をしていきたいと考えている。

医療用ウィッグ等の購入費助成を

健康福祉部長 県の動向を注視して実施を検討



令和3年12月定例会
一般質問(佐名議員)

問 がんは早期発見、早期治療すれば治る病気となりつつあるが、検診が重要。受診率向上へ新たな取り組みは。

健康福祉部長

コロナ禍でも積極的に検診を受けてもらえるよう定員を増やしたほか、今年度の無料クーポン対象者と過去2年間にがん検診を受けた人のうち、今年度は未受診者に対してはがきによる受診勧奨を行った。

問 集団検診の日数や定員を増やすことはできないか。

健康福祉部長

集団検診は日にちが決まっているが、個別検診は自身の都合に合わせて医療機関で予約でき、期間も7カ月と他市町より長く実施している。



生涯教育部長 大中にて医療従事者などを招いて講演会を実施している。
今後このような取り組みを続けながら、指導要領に則ったがん教育を進めていきたい。

問 がん患者への医療用ウィッグ等購入費の助成、アピアランス支援(外見変化の支援)を。

健康福祉部長

令和3年8月に愛知県から購入費助成について実施状況の調査があり、本町は実施を検討すると回答。しばらく県の動向を注視したい。

問 外部講師を活用した小中学校におけるがん教育を推進すべきでは。

生涯教育部長

大中にて医療従事者などを招いて講演会を実施している。

3歳児健診

視力検査用機器の導入を

部長 国の補助制度の活用を検討

問 子どもの視力は6歳くらいまでに発達するとされている。3歳児健診の視力検査方法は。

健康福祉部長

健診の問診票と一緒に視力の検査用紙を郵送し、家庭で保護者による事前検査をお願いしている。その問診結果により会場で保健師が再度検査を行う場合があり、その結果次第で眼科での精密検査を勧めている。

問 子どもの弱視を早期発見するため、3歳児健診の視力検査においてフォトスクリーナー(※)の導入を。

(※赤外線を利用して目を撮影し、ピントが合っているかを調べる機器。弱視のリスクの有無を判断できる。)

健康福祉部長

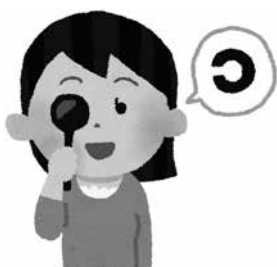
国が購入費を補助しているため、この制度の活用を検討していきたい。

問 強い屈折異常や斜視が見逃されれば治療が遅れ、十分な視力が得られない。保護者に検査の重要性の啓発を。

健康福祉部長

3歳児健診の視力検査は視力の発達遅れや目の疾患を早期に発見し、治療につなげるための重要な機会。

検査の重要性を保護者に理解してもらえよう、周知、啓発を図っていく。





子ども権利条例の制定を 町長 町制60周年での制定に向け努力

問 子どもの権利条約を活用して、子どもの権利を守れる町にすべきと思うが。

町長 私も子どもへの権利は、やはり守るべきであると思っている。

子どもたちにも生きる権利があるし、学習、生活において、安全で安心して暮らせることを保障することは絶対的に必要なことであると認識している。

子どもたちの将来に向けての支援はすべきであると考えている。

ただ、財政上の問題もあるが、最低限の権利は確実に守らなければならぬことだけは、お約束をさせていただく。

問 本町でも子ども権利条約に基づく子ども条例が必要だと考えるが、町の見解は。

町長 本町は、来年、町制60周年を迎える。

これを機会に子どもたちが家庭環境や心身の状況に関係なく暮らせるまち、そして健やかに育つまちにするための条例として、検討してまいりたい。

近隣では岩倉市が条例を制定しているの、それを参考にしながら、本町なりの条例が作れるように努力したい。



令和3年12月定例会
一般質問(吉田議員)



加齢性難聴対策

補聴器購入費助成を

部長 高齢化社会で継続的な補助は困難

問 75歳以上の健康診査には聴力検査が含まれていないので、これを含めることができるか。

健康福祉部長 健診項目は近隣の2市

2町(犬山市・江南市・大口町・扶桑町)で決めているので、今後の検討課題とさせていただきたい。

問 近隣が含めていないからやらないと言わずに、まず本町がやると言えないのか。

健康福祉部長 聴力検査が含まれてい

ないのは、75歳を過ぎれば耳が聞こえづらい状況になることが考えられる。早期発見という視点でいけば、少し若いうちからの健診が大切なので、まずはそこで気づいてもらえる啓発をすることから始めたい。

問 県内市町村でも補聴器の購入補助を実施するところが増えている。本町でも実施できないか。

健康福祉部長 補聴器の有効性は理解

しているが、今後、高齢者が急増する中で継続的な補助事業は慎重にならざるを得ない。

専門家の研究によれば、動脈硬化をはじめ生活習慣病の予防が加齢性難聴の予防につながるのとことです。まずは、生活習慣病の発症予防と重症化予防の啓発に努めていき



大口西小学校校舎

長寿命化改修工事を選んだ理由は

部長 国の補助金制度も長寿命化に移行



令和3年12月定例会
一般質問（江口議員）

問 西小学校校舎を建て替えては、長寿命化改修工事を選んだ理由は。

答 今回の改修工事にあたって児童に配慮した点は。

生涯教育部長

用地を取得せず、現在の運動場に建築する場合、地盤改良に多額の費用と時間が必要になる。

また、本町の人口も20〜30年後には減少する見込みであることや、国の補助制度も長寿命化改修工事に移行していることが挙げられる。

生涯教育部長

現在、南棟1階の1・2年生の一部が教室へ直接出入りしているが、全員が昇降口を利用できるように改修し、トイレも洋式化、乾式化する。また、パソコン教室を廃止し図書室を拡大してメディアセンターを設置する。

このほか、中庭の整備や家庭科等の特別教室を改修することを検討中。

問 以前からグラウンドの水はけの悪さが指摘されているが、現在、どのような計画か。

生涯教育部長

校舎の整備後になるが、遊具の再配置、外溝周りの整備を財政状況を勘案しながら進めていきたい。

問 長寿命化改修工事の完了時期は。

生涯教育部長

既存施設を使いながらの工事になるので学校との調整が必要だが、令和5年の早い時期に完了できればと考えている。

放課後児童クラブ

年末年始の休みを保育園と一緒に

部長 条例を改正して来年度から実施

問 本町の放課後児童クラブに待機者はないが、夏休みや一時利用者を含めると厳しい状況にあるとのこと。

この課題への対応策は。

健康福祉部長

現在、定員用者が一番多いのは西放課後児童クラブであるため、西小の施設を利用できないか学校教育課や西小と調整を始めたところ。

来年度中には目途を立てたい。

問 本町の放課後児童支援員の基本時給は近隣市町と比較しても低い水準。

時給を上げることが職員の確保に有効であり、サービス向上にも繋がると考えるがいかがか。

健康福祉部長

時給だけが応募の理由ではないと思うが、動機付けにはなると思うので、人事担当と協議して来年度に向けて検討する。



西児童センターは一時利用者が増えると受け入れが困難に

問 現在、年末年始の休みが放課後児童クラブは12月28日から1月4日まで、保育園は12月29日から1月3日までとなっている。この二日間の休みの差を解消できないか。

健康福祉部長

保護者の方から意見をいただいているので、来年度から実施できるように条例を改正したい。





総合計画アンケート結果

重点改善項目の認識とその対応は

部長 情報発信や啓発を継続



令和3年12月定例会
一般質問(岡議員)

問 政策推進事業の成果指標「町民意識調査」に関し、10年・5年毎の調査方法を基に、年度毎に住民満足度を評価する仕組みづくりは進んでいるのか。

総務部長 アンケートを実施しない年度の評価は、できるだけ費用をかけない方法を検討しているが、最適な方法の確立には至っていない。
より良い方法が見いだせるよう検討を続けていく。

各居住地域の優先度順位(全体の上位5位まで)

項目	順位	全体	順位	北地域	順位	中地域	順位	南地域
地震や水害など防災に対する安心感	1	1.28	3	1.26	3	1.18	1	1.37
町民の交通ルールやマナーを守る意識	2	1.26	1	1.33	1	1.30	5	1.12
交通事故からの安全性	3	1.22	2	1.27	4	1.17	2	1.24
犯罪にあうことのない安心感	4	1.16	5	1.10	2	1.27	4	1.15
段差解消や道幅の確保など歩道の歩きやすさ・安全性	5	1.15	4	1.28	5	0.92	3	1.18

出典:第7次総合計画策定のためのアンケート結果報告書(P.30)より抜粋

第7次大口町総合計画策定のためのアンケート結果報告書
アンケート結果の集計・分析から示された重点改善施策、中でも最優先で改善が求められる項目について。

問 南地域の、「地震や水害など防災に対する安心感」に対する、理解・認識、そしてアクションは。

総務部長 前回調査(平成27年)で優先度5位であった本項目が、今回調査(令和2年)で1位になった要因は、29年の短時間集中豪雨による五条川の越水によるものと考えられ、防災に対する安心感をより求められている結果だと思つ。
町としては、この結果を受け危機管理型水位計を4か所に設置したが、うち2か所を南地域内に

設置した。また、五条川上流域に位置する五市町で、水害対策の強化に向けた水防連携会議を立ち上げ、毎年、情報共有の場を設けている。

南地域では、今後、国道155号の4車線化や倉庫の新設など更なる開発が想定されるため、雨水対策を懸念される声もある。しかし、本町で開発する際には、雨水流出抑制対策を講じていたため、必要があるため、このことを地域の皆さんに知らせることも大切なのかもしれない。

これらの情報も南地域自組織の皆さんと共有し、かわら版などを通し、発信できるよう働き掛けた。

問 北と中地域の、「町民の交通ルールやマナーを守る意識」に対する、理解・認識、そしてアクションは。

総務部長 このことは、時代や若男男女問わず、共通意識が必要であり、重要性は認識している。

町では街頭監視活動や幼児交通安全教室などを継続的に実施し、コロナ終息後は老人クラブ等での教室も展開できればと考えている。また、危険箇所は、カラー舗装や啓発看板の設置等を進め、注意喚起に努めている。

当該地域では、地域自治組織が主体となり江南警察や町と協働で、北小と西小で交通安全教室をそれぞれ実施している。

今回のアンケート結果も踏まえ、「町民の交通ルールやマナーを守る意識」の向上に向けた取り組みを継続していく。

